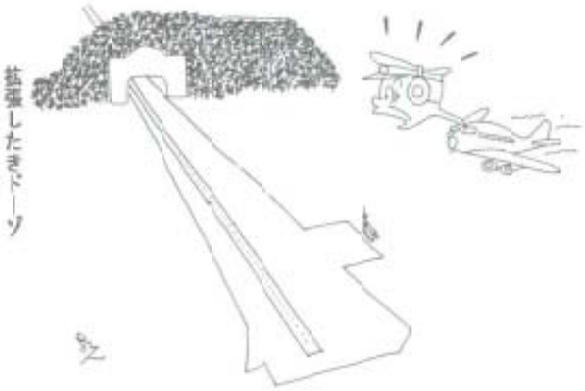
市民サロン

このページは市民の皆さんが作るページです。短歌、俳句、川柳などの文芸作品やどんなことでも結構ですので皆さんのご意見をお気軽にお寄せください。
締め切りは**毎月10日**です。
あて先は**南国市企画課市民サロン係**（〒783南国市大埇甲2301）です。



拡張したきドーソ　葛目義人（岡豊町）

水生昆虫から見た領石川①

小松由和（久礼田）

かつて夏には緑、秋には黄金の田圃が一面に広がった風景に今、高速道路等の交通網の発達により、昔の面影は変わりつつあります。

経済活性化にこう働く場所は広がりつつありますが、一方、どうしても自然環境が変化していくのは避けられないことだと思います。

二子供のころ、川遊びをした領石川は今どんな状況なのか」という単純な疑問から、川の中に生活する水生昆虫を観察してみました。

ある専門家の意見をお聞きすると「川の底には、それぞれの水の汚れの度合いに応じて動物（指標生物）が生活しているといわれ、その中の中間がどのくらい居たのかを調べることで、川のおおよその汚れを知ることができる」とのこと。（図1参照）

観察の方法としては、小さな網とピンセット、それにアルコールの入ったビンを用意し、各調査地点で網をしき、足や手で石とか砂をかき集め、それを水からすくい上げてピンセットで石や砂を取り除き、小さな水生昆虫をアルコールのビンに入れていくというやり方で一ケ所十五分間行いました。

（続く）

南国歌壇

世の別れ静かにまなこ閉じし夫　後免町　刈谷益子
がんばりぬきし命いとおし
夕陽もゆ万里の長城歩みたる　中谷　北村照美
思出遠く五十余年過ぎ
霧雨の水面にゆれるあじさいに　浜改田　柿澤富士子
風情一しほ広岡のみち
終運の音に競いて集い来る　田村　川口岩春
加茂なき知る白鷺の群
県外の車の多き日曜日　大埇　島　光則
唯駐車場の狭きを憂う

南国柳壇

茶柱が立って元気に旅に出る　立田　北村幸江
訪ね来し同級生の名を忘れ　十市　八松久幸

南国俳壇

芽き競ふことも楽しき花御堂　国分　田内賀代子
遍路入る札所も明日は灌仏会　国分　林　光江
南国の花を芽きつめ花御堂　国分　義父佳代
緑陰に収って居りすべり台　下末松　松浦智恵子
夏風邪の長くしみじみ老思ふ　大埇　小松千都
四万十の豊かな流れ舟遊び　篠原　橋本きよ女
田の上にかわほり刻のうす明り　上野田　岡崎筍林
垣間みる天の岩戸や新樹光　細生　中沢道子
園児らのおたまじゃくしに群がれる前　浜　中村竜子

われらサークル仲間

一折り一折り　心を込めて

今回は国府地区公民館で活動している「折り紙教室」におじゃましました。

◇　◇

昭和五十六年から公民館活動として始まった「折り紙教室」は毎月一回開かれています。指導にあたっているのは、日本折り紙協会の理事を務め、国際的にも活躍している川井淑子先生。その先生の人柄に引かれて、メンバーは近所だけでなく高知市からも集まってきて、約十五人が毎回楽しく創作しています。

内容は、先生がその日のテーマを決めてきて、それの折り方をメンバーに指導。折り上がったものを色紙にはって出来上がり。四季の草花や、えと、茶摘みなど年間の行事に関するもの、さらには生活に役立つものなど、すべて先生の創作。

最初は「指が大きすぎる」とか「眼鏡が見えん」と言って苦労していた皆さんも、今では先生の親切な指導で竹ぐし、ピンセット、ハサミ、さしなどを使って細かいところも器用に折っていきます。

最後に川井先生は「紙にはものを生み出す無限の可能性があります。それを人の心のぬくもりで折っていくのです。ものをつくることは新しい発見であり、感動なのです」と話っていました。

◇　◇

このコーナーでは、同じ趣味を持ったガたちの美しい活動風景を紹介しています。「私たちのサークルを取材してほしい」とおもわれる皆さん、ぜひご応募ください。

◪**応募方法**　サークルの代表者の氏名、住所、電話番号、活動場所、それに活動内容を簡単に明記

◪**あて先**　〒783南国市大埇甲2300　南国市企画課広報統計係

これはなんでしょう

答えについての思い出などもお待ちしています。

◪**しめきり**　7月10日

◪**あて先**　〒783　南国市大埇甲2300　南国市企画課　親子クイズ係

◪**賞品**　正解者の中から抽選で5人に図書券を進呈

◎第242回親子クイズの答えは、**雨ぐつ（長ぐつ）**でした。

第242回当選者発表（敬称略）
（応募総数13通）
水木真由子（岡豊）
秋山久美子（岡豊）
大川登志子（左右山）
中村久江（前浜）
西岡美加（十市）

お便りの中から皆さんの思い出の一部をご紹介します。

◆長男が三歳のころピンクとブルーのツートンカラーの長靴を買ってやりました。夜、枕元へおいて寝ていましたが、夜中に目が覚めると枕元の長靴をあるかどうか手で触り確かめておいて、また眠りにつきました。子供心にうれしかったことでしょう。買ってやってよかったと思ったことでした。今でも小さい長靴を見るとこのときの光景が目に浮かびます。その長男も二児の親になりました。

◆子供のころ、長靴をはいて水たまりに入るのが好きでした。そのころはあめんぼうがたくさんいてながめました。もう何年も見てませんね。

◆小さいころ雨がふるとあまぐつで、かさをさして外にでて、水たまりに入って遊ぶのが好きでした。今ははかないけど、妹がはいているのをみて、小さいころのことを思い出しています。

◆水たまりにはいって、水をいっぱいちらしてあそびました。ながぐつのなかにもお水がいっぱい。少しおかあさんにしかられました。ようふくにもつちいろの水玉もようがたくさんできちゃった。